

第 73 回 「社会を明るくする運動」 伝達式が行われました

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

7月3日(月)に行われた本伝達式では、岸田文雄内閣総理大臣からのメッセージを、小川地区保護司会ときがわ支部長の宮本邦幸さんが渡邊町長へ伝達されました。



メッセージを手渡す宮本さん（写真右）と、受け取る渡邊町長（同左）。

写真説明

行政相談委員に柴田さん就任

令和5年4月から、柴田光子さんが行政相談委員に就任されました。また、前任の内室睦夫さんが退任され、7月6日(木)に感謝状の贈呈式が行われました。平成31年度から長きに渡り行政相談にご尽力いただき、大変お疲れさまでした。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱し、公正・中立な立場から行政に関する相談や手続きに関する問い合わせなどを受け付け、その解決のための助言を行っています。相談日については、本紙informationくらしの情報をご覧ください。



①退任される内室さんに、感謝状が送られました。②写真左から、小峯副町長、就任された柴田さん、退任された内室さん、総務省・荻谷総務行政相談部長。

写真説明

グラフときがわ

写真でときがわの「今」をお伝えする“グラフときがわ”。珍しい情報や写真は☎65-0401 広報担当までお寄せください。

「8020よい歯のコンクール」ときがわ町から5名が表彰

「8020運動」とは「80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょう」という運動です。20本の歯があれば、ほとんどの食べ物をかみ砕くことができ、おいしくなんでも食べることができます。平成元年に始まった運動で、達成率が5割を超えましたが、現在では歯周病にかかっている人の割合が高いことが課題になっています。

歯と口の健康を保つためには、かかりつけ医で定期的に歯科健診を受けること、しっかりと唾液を増やすこと、丁寧な歯のブラッシングや歯間ブラシ・デンタルフロスを使ってしっかりと汚れを取るなどが大切です。かむ、味わう、話すなどの歯や口の役割は、豊かに生きるために重要なものです。日頃の口腔ケアを意識するようにしましょう。

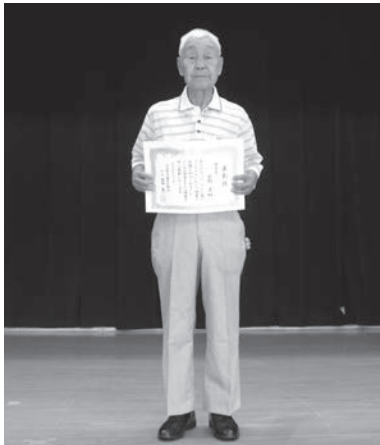
今回のコンクールでは、ときがわ町から5名の方が表彰されました。おめでとうございます。



歯ブラシでの歯磨きに加えて、洗口液を併せて使っています。歯ぐきが丈夫であることが大切と考え、歯ぐきをしっかりと磨き、抜歯を提案されたこともありましたが、自分の歯を残したいと希望・相談し、その後も自分の歯を維持してきました。（池上壽枝さん）



歯ぐきが丈夫であることが大切と考え、歯ぐきをしっかりと磨き、抜歯を提案されたこともありましたが、自分の歯を残したいと希望・相談し、その後も自分の歯を維持してきました。（池田義明さん）



30年間、歯ブラシは45°の角度で歯ぐきと歯の境目に当てて磨いています。加えて歯間ブラシも1日3回使っています。半年に1回、歯科健診を必ず受けています。外食が多いので、車内にも歯ブラシと歯間ブラシを置いておくようにしています。（荻野直さん）



何でも、おいしく食べることができます。子どもの時から、甘いものを食べず、間食をしません。飲み物はお茶を飲むようにしています。（栗嶋且美さん）



半年に1回、かかりつけ歯科で健診とブラッシング（清掃）を受けています。歯科で歯ブラシを買うようにしています。ヘッドの小さい歯ブラシが使いやすいと感じています。（関口貞夫さん）

受賞された皆さま。8020の秘訣を伺いました。

写真説明